

時間	展開	内容・進め方	留意点
5分	【展開4】 興味を持った 学問から 文理・科目選択をする  文理・科目チェックシート	●「文理・科目チェックシート」を配付。 ・「文理・科目チェックシート」で「関連する高校の教科・科目」を確認する。 ・得意な教科、勉強してみたい教科をピックアップしてワークシートに記入。 ・ワークシートの「得意な科目を増やすアドバイス！」で、参考に出来そうな内容にチェックをする。 ・進学（入試）に必要な科目であるかどうかを調べる必要がある教科があれば、それをワークシートに書いておく。調べ方もチェックしておく。自分が思いついた方法があれば、それを「自分なりに思いついた方法」の欄に書く。	※学問についてより深く調べたい場合は、ワークシートの一番下の枠で調べ方をチェックする。
5分	終了	・今後の科目選択に関する手続きやスケジュールを説明。 ●これまで考えていた選択科目と今日の授業で興味を持った科目が異なる場合どうするのか？ ●もっと詳しく学問や科目について調べたい場合はどうするのか？ ●既に進路選択が済んでいた、選択科目が決まってしまう時に、選択変更をしたい場合はどうするのか？ - など ・ワークシートを回収。 ・後日、先生がコメントを記入してから返却。	※ワークシートの内容を個人面談でフォローできると尚良い



T2-001

※本テキストの著作権は、株式会社リアセックに帰属していますので、本テキストの著作権が他者に帰属するような表示及び言及をしてはなりません。
※高校生向けのキャリアや進路に関する授業・セミナー以外の目的で本テキストを使用することはできません。

株式会社リアセック R-CAP事務局 <http://www.r-cap.net/teens/>

Copyright 2006 RIASEC, inc. All Right Reserved.



授業の進め方

キャリア教育授業
進路理解

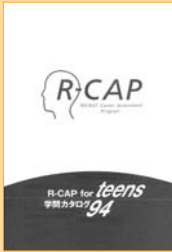
将来を見据えた科目選択
「興味・価値観から
文理＆科目を選ぼう！」

訓練される能力 (効果)	自己理解	コミュニケーション	情報収集・探索	職業(学問)理解	役割把握・認識	計画実行	選択	課題解決
内容○ 教授法△	○	△	○				○	○
学習のねらい	①生徒の興味・価値観を反映した選択を促す 単純に「文系か理系か」「化学か生物か」といった科目選択をするのではなく、生徒の価値観・興味・志向から科目選択を考えてもらう。				②勉強に対する目的意識・興味・関心の醸成 目の前にある勉強に対する目的意識を醸成するためにR-CAPの学問適性を使用。 卒業後に進学を考えていない人も対象とした授業。			
授業時間	50分		授業前の準備ポイント		卒業した先輩へのインタビューとそのまとめ(※選択性)			
当日 必要なもの	講師				生徒			
	●配付資料 ☐ 「興味・価値観から文理＆科目を選ぼう!」ワークシート ☐ 文理・科目チェックシート ☐ 「先輩インタビュー」紹介シート				●先生用資料 ☐ R-CAP ☐ 学問カタログ94			
					☐ R-CAPの結果一式 ☐ 学問カタログ94 ☐ 筆記用具			

授業展開のための実践ヒント

ポイント	◎現在の成績や「好き・嫌い」といった視点ではなく、 将来に対するポジティブな視点、期待感を大切に
------	---

時間	展開	内容・進め方	留意点
5分	【導入】 科目選択の 新たな視点の説明  R-CAP／学問適性Top20	●持ってきたR-CAPの結果を机の上に出してもらおう。 ・「今日は、R-CAPの学問適性の結果を参考にして、科目選択について考える時間を持ちます」 ・「科目を選択するときに、みなさんは『自分の得意教科だから』とか、『好きか嫌いか』といった基準で選ぶことが多いと思います。そこで、今日は、そういう基準ではなく、R-CAPの学問適性の結果を使いながら、自分の適性や興味関心、将来の進路の面から考えるようにしたいと思います」 ・「その前に、まずはみなさんの先輩たちのケースを見てみましょう」	※先輩のインタビューを準備していない場合は、次のセッションはとばし、右ページの展開1に進む。
	先輩の姿を通して 将来を考える  「先輩インタビュー」紹介シート	〈このセッションのねらい〉 ■将来に対するポジティブな視点、期待感を持ってもらう。 ●高校を卒業した先輩の「先輩インタビュー」紹介シート(※)を配付する。 ・「この高校を卒業したみなさんの先輩が進路に関するインタビューに答えてくれました」 ・<u>先輩の進路、高校時代の状況、現在の状況、本人たちのコメントを紹介する。</u> ●卒業したコース／クラス ●高校時代の思い出 ●進路の決め方 ●現在のわたし ●メッセージ ・「これらのコメントからもわかるように、先輩たちは、自分が興味を持ち、頑張れることをしています。高校で学んだこと（勉強、クラブ活動、人間関係など）も活かしながら楽しくやっています」 ・「自分が数年後、先輩たちのように充実した毎日を送るためには、どうすれば良いと思いますか？」 ・「ここに載っている先輩は、全員異なる進路の選び方をしています。考え方、興味、選び方が全然違います。みんなもこれから自分の進路を考えていけないけれども、その最初のステップとして科目選択があるわけです。後で後悔しない選択をするためにも、自分の興味や関心についてよく考えてみてください」	※事前に2～3名の卒業生にインタビューをしておき、「先輩インタビュー」紹介シートに記入し、クラス人数分だけ準備しておく。

時間	展開	内容・進め方	留意点
15分	【展開1】 「学問カタログ」で 学問の中身を研究  R-CAP／学問カタログ94	●「興味・価値観から文理＆科目を選ぼう！」のワークシートを配付。 ①「学問適性」の結果TOP20の中で興味・関心をひいた学問を「学問カタログ94」で読む。	
5分	【展開2】 「ワークシート」で 自分の好みを分析  「興味・価値観から文理＆科目を選ぼう！」ワークシート	②興味を持った学問ベスト2をワークシートに記入。 ●学問カタログでその2つについて説明している箇所から、面白そう・楽しそうと思った文章を書き写す。 ●面白いと思った理由も書く	
15分	【展開3】 インタビューで 自分の興味を深める	③「なぜなぜインタビュー」 ●3～4人ぐらいで一つのグループを作る。 ●発表者は選んだ学問2つについて紹介し、なぜ興味を持ったかを説明する。 ●聞いている側は「なぜ面白いと思ったのか」「どんなところが面白いと思ったのか」など詳しく知りたいと思った点を聞く。 ●発表者はインタビューを通して新しく気づいた事や考えさせられたことをワークシートに書きとめる。	※インタビューの目的は、なぜその学問を面白いと思ったのか、どの部分に面白さを感じるのかを人に説明することによってより本人の中ではっきりとさせるため。